

令和2(2020)年度環境学習出前授業の実施結果について

令和3(2021)年3月2日
栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 環境学習出前授業について

廃棄物処理施設に対する理解促進を目的に、県内の小学校を対象に、県と関係団体で制作した「廃棄物処理施設紹介動画」等を活用しながら、廃棄物が資源として再び生まれ変わる様子や廃棄物処理施設の役割等を分かりやすく説明し、環境に優しい循環型社会の形成について学べる授業を行いました。

- ・対象：県内の小学校
- ・講師：廃棄物対策課職員、各環境森林（管理）事務所職員

2 実施結果

実施月	実施数	児童数※	実施市町
9月	4校8クラス	192人	大田原市、小山市、栃木市
10月	5校11クラス	238人	高根沢町、栃木市、那須塩原市
11月	5校11クラス	328人	栃木市、那須塩原市
12月	3校5クラス	103人	佐野市、大田原市、鹿沼市
合計	17校35クラス	861人	7市町
4学年	14校24クラス	630人	
5学年	6校10クラス	222人	
6学年	1校1クラス	9人	

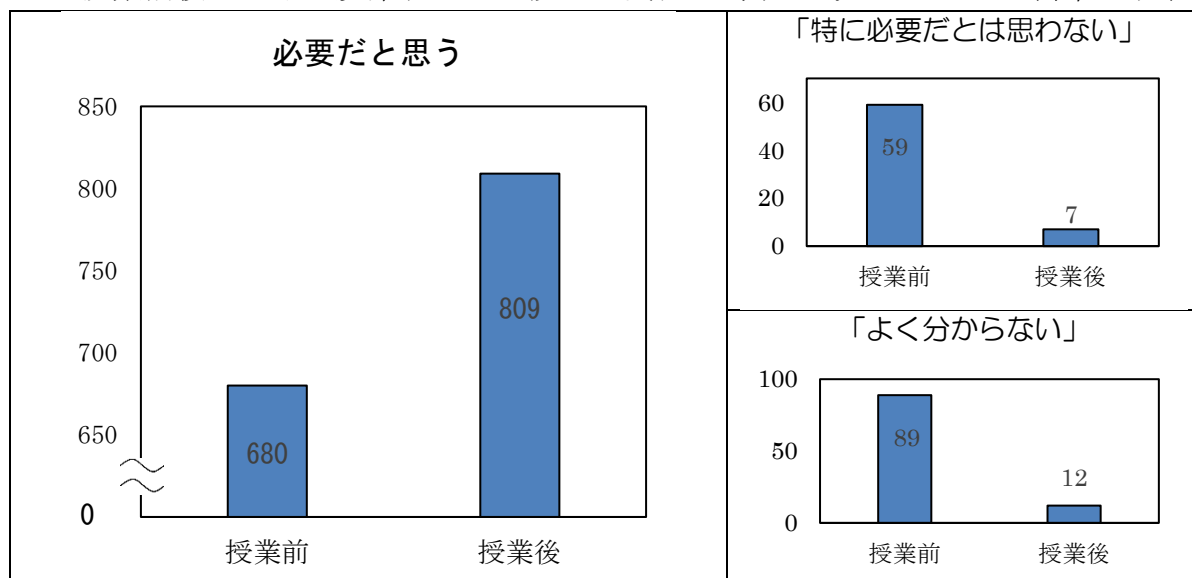
※人数は、応募時のクラス在籍者数から算出

※複数学年の申込みがあったため、各学年の実施校数と各月の実施校数の総計は一致しない。

3 授業後のアンケート結果

○アンケート回答数：計35クラス829名

○授業前後における廃棄物処理施設の必要性に対する考え方（単位：人）



○授業の感想

- ごみを処理する施設でどうやって処理をしているかが分かって勉強になった。
- 施設だけに限らず、自らごみを減らす活動ができることを知った。
- 改めて処理施設はみんなのため、地球のために必要だと思った。